

社会福祉法人



# 埼玉いのちの電話

ひとりぼっちで悩まずに……048-645-4343 こどもライン048-640-6400

発行人：小川 瑞穂 編集：広報委員会  
 発行所：社会福祉法人 埼玉いのちの電話  
 〒337-8692 大宮郵便局私書箱第29号  
 電話：048-645-4322  
 FAX：048-645-4355  
<http://www.sainet.or.jp/~sai-id>



自分に

ぼたぼたと  
 蛇口から落ちる涙は  
 止まらない

どんなに辛く  
 悲しいことがあっても  
 いつまでも  
 くよくよしては  
 だめ

思いきり  
 蛇口をひねって  
 一気に涙を  
 流してしまうの

さあ 新しいカップで  
 コーヒーのみましよう

詩集 くじけないで  
 柴田トヨ (99歳)  
 飛鳥新社より



## あなたのご支援を必要としています。

いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。  
 現在 24 時間、365 日休まず相談を受けていますが、相談員の養成、研修、電話センターの維持管理、  
 広報活動費など、運営には多額の経費が必要です。  
 この活動をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

振込先：郵便振替 00140-9-137380

：埼玉りそな銀行大宮支店（普通）4315510

（福）埼玉いのちの電話

事務局：社会福祉法人 埼玉いのちの電話

〒337-8692 大宮郵便局私書箱第29号 TEL 048-645-4322

一人ひとりのいのちを大切にするために 孤立させない社会を

# 高齢者の孤独死を防ぐには

－身近な地域で 見守り活動と交流の場を－

孤立させない社会をテーマに、“生活困窮者への支援活動”、“孤立する母親たちを支える一埼玉子どもを虐待から守る会”を取上げてきましたが、今回は、高齢者の孤独死をテーマに、高齢者を孤立させない社会への取り組みを紹介します。

一人暮らしの高齢者が亡くなって何ヶ月も経ってから発見されたこと、また、行方知らずのままになっている高齢者や死亡している高齢者の年金詐欺事件も大きく報道されました。これは社会構造自体の変化によって高齢者が孤立しやすい社会になってきた結果といえます。そんな中で、隣り近所のつながりを新たに創っていこうという取り組みも始められています。



## 高齢者の自殺の動機

諸外国に比べ日本の高齢者の自殺率は高く、70歳以上の自殺者は全体の17.1%（2009年）を占めています。その自殺の動機は健康問題が67%、家庭問題が15%を占めており、その背景にはうつ病などの精神疾患が多いことが知られています。こうした背景から、高齢者の引きこもりを防止し、生きがいを創造することが、結果的に高齢者の自殺予防にもつながると考えられています。



## 社会構造の変化

国立社会保障・人口問題研究所の「人口統計資料集（2010年）」によると、生涯未婚率は男性が15.96%、女性は7.25%でした。特に男性は10年前の調査と比べ約7ポイントも上昇しています。また、単身生活者の増加、地域のつながりの低下、個人の意識変化（一人暮らしの選択）などにより高齢者の孤独死が増えているとのこと。

埼玉県警察本部の調べによると、2008年度において65歳以上の単身高齢者が自宅で死亡した数は、自殺者も含め1,007人でした。



## 高齢者孤独死防止対策の取り組み

高齢者等が一人でも安心して暮らせるコミュニティづくり推進会議（「孤立死」ゼロを目指して）－報告書－（2008年3月28日）が厚生労働省から出され、具体的な取り組みとして次の7項目が挙げ

られています。

- ①実態把握、②普及・啓発、③安否確認システム等、④緊急情報システム、⑤サロン等つどう場、⑥ネットワーク構築等、⑦相談事業

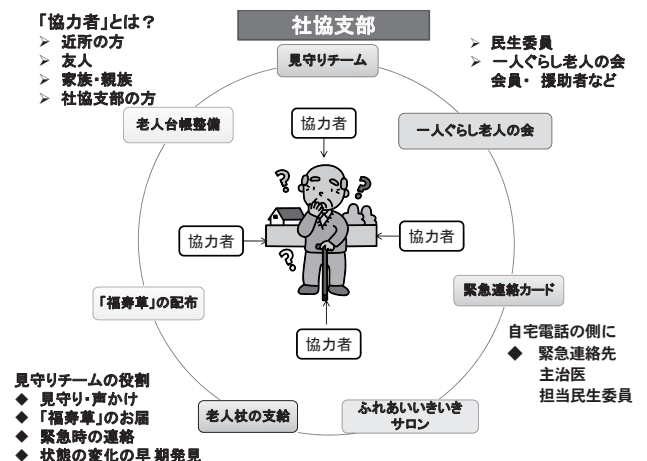
また、単身高齢者や高齢夫婦世帯が急増する埼玉県でも高齢者支援計画（2009年3月）を策定し、各地域で取り組みが進められています。



## 埼玉県内での地域の取り組み例

### ふじみ野市社協支部を軸に進める『見守り活動』

ふじみ野市は2005年に合併により誕生し、高齢化率は21.0%で、上福岡地区には高齢化の進んだ地域もあり上野台団地（人口約1,900人、約1,000世帯）は高齢化率46.1%と2人に1人が65歳以上です。上野台団地があるふじみ野市社協上福岡支所が“孤立しがちな一人暮らし等の高齢者を地域で大切に見守る”ことを目標に取り組んでいます。



『見守り活動』は「見守りチームの設置」「一人暮らし高齢者を対象とした老人新聞“福寿草”の発行・配布」「一人暮らし老人の会の支援」「ふれあいいきいきサロンの開催」「緊急連絡カードの配布」など様々な形で展開されています。これらは、社協支部を中心に民生委員や地域住民の理解と協力のもと、連携しながら、身近な地域で「日常的に見守り支えていこう」とする活動です。

上福岡地区の現在の見守りチームは320チーム、協力者は843名、“福寿草”発行部数は2,272部、ふれあいいきいきサロン開催支部は19支部、緊急連絡カードは累積で963枚配布されています。

### ●見守りチームで助かった団地住まいのAさん

Aさんは、一人暮らしの高齢者。宅配弁当が翌日もそのままになっているのを不審に思った近所の見守りチームのBさんが、団地の管理事務所へ連絡し、団地から社協へ連絡。社協は民生委員と地域包括支援センターに連絡し、民生委員はすぐにAさんの家族へ連絡しました。家族の了解のもと警察に連絡し鍵を壊して入室すると、Aさんは脳梗塞を起こし倒れていました。幸い意識はありすぐに救急車で病院に搬送されました。Aさんと家族は、皆さんの日頃の見守りと連携に助けられたと感謝されていました。

### 宮代台団地のサロン「月曜くらぶ」の活動

宮代台団地は南埼玉郡宮代町にあり、1971年に開発された新興住宅地です。世帯数は766世帯、人口は2,200人で、高齢化率は34%。3人に1人が65歳以上になっています。

サロン「月曜くらぶ」は2009年10月から地域の主婦17人が中心となり始まりました。きっかけは、同じ団地の主婦たちの「なかなか外に出る機会のないお年寄りはどうしているのかしら」という話からでした。参加者は初年度846人、今年度は1000人くらいになりそうです。



折り紙教室



生け花を囲みながら団欒

### ●高齢者も生きがいを持てる活動

サロン「月曜くらぶ」は毎週月曜日に団地の集会所に集まります。出入も参加も全く自由です。最初は「話を聴く」ことを主な目的にした集まりでしたが、ただ話すだけではなく、やはり美味しいものを食べながらにしたいという参加者の希望もあり食事もし始めました。思う存分お喋りした後は、参加者が吹くハーモニカやオカリナの伴奏で歌ったり、囲碁、折り紙や手芸なども自然発生的に始まりました。参加者自らが盆栽や生け花を持って来て飾ったり、地域の方々の家庭菜園から、野菜をいただくこともあります。プロのシェフだった方が1～2か月に一度昼食を作ってくれたり、料理愛好家グループや料理自慢の方々が、次々と料理やお菓子を作ってくれています。参加者はお世話になるのではなく、「月曜くらぶ」のスタッフを支えたい、自分のことで人の役に立ちたいとの熱い思いがあり、地域の繋がりを強くしています。

参加者からは、「今まで、あまりお目にかからなかった方々に会え、以前より親しみが深くなり元気をいただいている」、「毎日一人で家にいると、それだけでストレスになる」、「認知症の妻を介護しているが、気分的にゆとりができた」などの声が寄せられています。



### 電話相談から

埼玉いのちの電話にも70代以上と思われる方からの電話は2009年819件（全体の3.3%）あり、その内訳は人生（孤独含む）と家族に関する相談が493件でした。その中で孤独は約170件で、一人暮らしや話し相手のいない寂しさを語り、身体や心の病気があることによって一層孤独感が増すと話されます。話をするのはいのちの電話だけという寂しさが伝わってきます。

高齢化社会が進む中、いのちの電話にはこれからも高齢の方々からの電話が増えることと思われます。埼玉いのちの電話では話を聴くことを基本に、関係する団体との繋がりを持ち、自殺防止に取り組んでいきたいと思っています。



# 悲しむ力・喜ぶ力

清水 眞砂子 評論家、翻訳家（『ゲド戦記』など）  
青山学院女子短期大学名誉教授

## 若い人たちに向かい合っ

私は合計すると45年、若い人たちに向かい合ってきました。教育の現場にいて、「教育とは何か」ということを、ずっと考え続けてきた毎日だったように思います。去年の春に退職し、つくづく自分が学内で規則違反を重ね続けたということに気がつきました。内規では、学生に手紙を出したくて住所を聞くと、「一切漏らしません」という誓約書を事務部に提出することが必要です。学生も私の住所を知りたくても、事務部を通して手続きしなくてはなりません。そんなことで教員と生徒たちが、ちゃんとつながれるのだろうかと思って、私はいつも授業に行くと住所と電話番号を教えました。

悪用されるのを防御するはずだった個人情報保護法が、人間関係をズタズタにするという形で働いてしまっている部分がい分あるように思います。

実は大学の研究室は個人情報がいっぱいある場所で、鍵をかけて出るようにと言われますが、私は一度も鍵をかけたことがありませんでした。学生に、私がいなくても1人になりたかったら私の研究室を使ってちょうだい、本棚にある本も読んでいいからと言っておきました。こういう内規違反というのは数知れず、よくクビにならなかったと思います。

## 人としてやってきたこと

この頃とても気になることの一つに、コンプライアンスということがあります。法令遵守と訳されて、これが至るところアメンバーのように私たちの生活の中に入り込んでいて、本当にぎくしゃくさせるのです。

例えば、私は、ここ20年近く「かくまう」という問題について考えてきました。『アンネの日記』の、アンネの家族をかくまったミーブ・ヒースという女性があります。彼女は一家をドアの向こうにかくまって、2年何カ月を守り続けるわけです。あの時代それは命がけのこと、権力側から見れば犯罪行為です。八百屋さんが見て見ぬふりをしてジャガイモを売らなくてはならない。肉屋さんもパン屋さんも、みんな見て見ぬふりをして食糧調達に協力した。そうで

なかったら、あの隠れ家の人たちは生き延びることができなかったはず。そうすると、ミーブ・ヒースを中心に、さらに「かくまう」という人の輪ができていたということが分かります。

つまり、そのときそのときの権力側がつくった法律に反することを、人々は結構やってきた。人としてやってきたのではないかという気がするのです。

## 大切にしたい1人での時間

この前、群馬で小学6年生の女の子が自殺しました。いじめがあったとか、いろいろ騒がれましたけれども、新聞記事やテレビ報道を見ながら、一つだけ、だれも言っていない問題が私の中で気になりました。それは、あの女の子に「1人でしかできない豊かなものがいっぱいあるんだ」ということを、だれか周りの大人は伝えただろうかということなのです。「1人でいたからかわいそうだ」「1人でのことはマイナスだ」という発想の記事は、わんさとあります。1人でのいるからこそ深く豊かに生きられたり、素敵な世界に出会えるということ、あの子の周りでだれか伝えてやる人がいたら、そしたら生き延びられたかもしれないのと思いました。

実はこれを思うのは、あの女の子のことが初めてではないからです。学生たちが短大に入ってきて最初の授業のとき、「1人での時間を大切にね」といつも話すのですが、授業が終わって廊下に出ると必ずやってくる学生がいます。「先生、1人でいてもいいんですね」と言うのです。最初、まずそのことにびっくりしました。私は、大学生は1人でのいることが可能だし、それが豊かに生きられる基礎をつくる時代だと言うのですけれども、彼女たちは1人でのいることはいけない、それは負け犬のすること、みじめな人間のやることであると思い込まれてきているのです。

あの群馬の女の子だって、やっぱりそうだったと思います。1人でのいるということを極力否定的に扱うというのを、学校の先生も、幼稚園の先生も、親もやってしまう。友達がいなくて、あの子、1人でい

て大丈夫かしらと思ったりする。1人であることはいけないことと思っている。それを伝えてしまっている大人たちがたくさんいます。

## 怒りやモヤモヤを言葉にする

怒ることもマイナスだと、ほとんどの学生が思っています。怒れ、怒れと、私は随分けしかけたけど怒らない。怒らないで何をしているかという、むかついているのです。「怒る」と「むかつく」は、似ているようで全然違う。私は、「むかつく」というのは非常に不健康だと思います。自分自身をどんどん蝕んで、どこかでバーンと変な爆発の仕方をするので。

自分の中にたまってくる怒りを言葉によって発散させる、モヤモヤしている感情を表す言葉があるということは、そういう感情に水路をちゃんとつけてやるということです。水が流れるようにしてやらなくては、当然、変なあふれ方をしていきます。それが陰湿ないじめにもなったりするのではないのでしょうか。もちろんそれだけではないでしょうけれども。言い返す言葉や口答えなどを幾つか持っているということで、どれほど精神的な解放になるか。言葉が豊かにあるということは、美しい敬語ばかりがあるということではありません。

## 自分はどこにいるの？

悲しむこと、悩むこと、1人になること、怒ること、陰というのは全部悪いという状況に置かれて若い人たちは、ではどうすればいいのと言ったら、テレビで朝からやっているようにウハウハ笑っていることなのです。ニコニコして調子のいいことを言って、そして悩みは出てきそうになるとパッとふさいでしまう。

でも、本当は何も軽薄でありたいと希望しているわけではないということを、私は学生たちから教わりました。学生が私の研究室でお昼も一緒にしょっちゅう食べていましたけれども、あるとき別のゼミの学生が私の部屋に友達を訪ねてやってきました。そして出ていくときに「この部屋って、いつもこういう真面目な話をしてるわけ？」と言ったのです。そしたら彼女が出ていってすぐ、「だってさ、ここは安心して真面目になれるもんね」「そうだよ」と学生同士が言っていました。

本当は、若い人たちは真面目に考えたがっているのです。ちゃんと悩み、ちゃんと悲しみと向かい合いたいのに、格好悪いとか負け組だと言われそうなので、急いで蓋をしてはぐらかす。ちゃんと向かい

合うことをしないでいるうちに、自分がどこにいるのか分からなくなってしまふ。分からなくなるのは当たり前だと思います。

## 喜怒哀楽を存分に生きるということ

はぐらかしているうちに、心から喜んだり悲しんだり怒ったり、とことん悩んだりということができなくなりつつある人たちに対して、今どうすればいいのか。大人に問われていることは何だろうと考えてみると、大人自身がやっぱり多数につきたがっている。そして怒りも悲しみも、大人自身が否定的に捉えているのではないかと思うのです。

先生や大人たちは、例えば「心が豊かになるから本を読みましょう」と子どもに言う。でも「心が豊かになる」とはどういうことかまで踏み込んでいないような気がします。私は、それは何も優しく穏やかになることだけだとは思えないのです。喜怒哀楽を存分に生きるということが、心豊かに生きるということではないかと思います。悩むことをふさいだり、悲しむことをはぐらかしたりして、何が心豊かに生きることかという気がするのです。

それだけに、話が戻りますけれども、群馬の女の子のそばにだれか1人でもいいから、そうたくさんは要らない、でもだれか1人確実にそういうものを伝えてやれる大人がいたらと思いました。

人生を、あるいは人間を否定的に見るというのは放っておいてもできる。だけれども肯定的に受け止めていくというのは、意思なくしてはできないと思います。エネルギーが必要です。そのエネルギーは惜しみたくないといつも思います。いい人間はこうだ、悪い人間はこうだとか言うのではなくて、人間の複雑さを認め、もっとストライクゾーンを広げていく。コンプライアンスに反したって別にいいじゃないの、人間としてやってしまうことはいっぱいあるよねと。そういうことが少しずつできるようになったら、ちょっと生きやすくなるのではないかという気がします。

(文責・広報委員会)

\*公開講演会「悲しむ力・喜ぶ力」より抜粋しました。

### 医療法人 社団 群羊会

<http://www2n.biglobe.ne.jp/~fukuin>

耳鼻咽喉科 **福音診療所**

〒364-0023 埼玉県北本市下石戸下1549-51

TEL 048-592-2862

FAX 048-593-5067



内科・小児科 **南福音診療所**

〒364-0021 埼玉県北本市北本宿161-4

TEL 048-591-7191

FAX 048-591-9668

愛と献身 ふれあい 診療



# いのちの電話相談員の思い

—埼玉いのちの電話は今年 20 周年を迎えます—

## 『長く相談員を続けてきたのは何故？』

と聞かれても困るのですが・・・

振り返ってみれば「いのちの電話」にかかわって四半世紀を超えてしまっている。私は東京いのちの電話で訓練を受け相談員になった。その後3年余り、電話担当をするため東京まで通うのにも倦んできていた。ボランティアも、もういいかと辞めようと思っていた時、「埼玉いのちの電話をつくりましょう」とのお誘いの手紙が届いた。近くにセンターができるのならもう少し続けられるかもしれないとの思いから、その立ち上げに参加することにした。

何も無いところからの活動は、寄付のお願いから、場所探し、研修のカリキュラム作り、相談員の募集、そして研修の実施と、どれもこれも無我夢中で動き回った。1991年9月1日、埼玉いのちの電話に一本目の電話がかかってきた時の感動は今も忘れられない。

あれから20年。死にたいと言っておられた方と電話のあちらとこちらで同時に、朝日の昇るのを「きれい」と眺めることができた時。「死にたいと言われたまま声が聞えなくなりました」と、担当している相談員さんからの緊急連絡に夜中センターに駆けつけたこと。「あの時話を聴いていただいたから今があります」と寄付をくださった方。と、いろいろな方との出会いがあった。

いま私は高齢者の仲間入りをし、体力的に厳しくなっている。東京の20周年記念(20年前)の冊子「それぞれの思い」に私の拙文が載っている。そこにいのちの電話のことを「何か分からない摩訶不思議な魅力的なもの。気がつくとき引き寄せられ、更に一歩深みにはまり込んでいるような気がする」と書いている。不思議が分かりたくてどっぷりはまり込んでしまったのだろうが、多分いくらやっても分からないだろうと思っている。でも私にとってはやっぱり「いのちの電話」は摩訶不思議な魅力的な場所なのであろう。だから続いている。(相談員Fさん)

## 開局より共に歩んで

何も分からず、ただ自分の勉強をしたいという思いで「いのちの電話」の何たるも知らず、勧められるままにとび込んだのが、私と「いのちの電話」との始まりでした。

電話内容も、始めた頃から時代と共に変わってきたように感じます。自分は何者かと自分のアイデンティティーを求めていた若者、なかなか人間関係がうまくもてない人。これらの事はマスコミでさわがれる前に、相談という形で表れていたように思います。今は情報があふれ、また相談機関も多くなりました。それでも今も昔も「いのちの電話」は、受話器を置けば鳴り、かかりにくいという苦情が一杯なのは変化していません。早く「今日はかかってこないね」と言える平和な時代になればと感じます。

私は一時夫の転勤で離れることもありましたが、人と関わっていたい、もっとよく聴けるようになりたい、感性を磨きたいなどこんな思いで20余年続けてきたように思います。やはり人間が好きなのでしょう。今の私は、最初のころより、やればやるほど難しく、かけ手の一言の言葉から悲しさ、切なさ、さみしさなど心の叫びが重く感じられ苦しくなります。どうすれば力になれるのか分からぬまま、ただひたすら素直に感じられるままに、かけ手と共にゆれています。そしてその想いを大切に受け取らせてもらっています。

長年いのちの電話に関わらせていただいているのも、健康に恵まれ家族の理解や協力があつたことと感謝しつつ、今も電話の前にドキドキしながら座っています。(相談員Kさん)





地域を知るともっと楽しくなる!!

埼玉新聞

購読のお申し込みは ☎0120-633-888

毎朝届けて1カ月 2,900円

埼玉新聞社

# 埼玉いのちの電話は皆様に支えられています

## ～朝日新聞・西部朝日西武支部によるチャリティーコンサート～

2009年秋、所沢ミュージズに於いてベルリンフィルのメンバーによる「埼玉いのちの電話支援チャリティーコンサート」が開催されるというチラシが、飯能・所沢近辺の朝日新聞購読者に配布されました。

何も知らなかった私どもはチラシを見て大変驚き、朝日新聞・西部朝日西武支部の方々の温かいサプライズに感動いたしました。

早速、担当の方に連絡してお話を伺ったところ、西部朝日西武支部では、毎年色々な福祉活動を応援するイベントを開催されているとのこと、埼玉いのちの電話の活動をぜひ支援しようとチャリティーコンサートを準備して下さったのでした。

そして2010年11月、再び「埼玉いのちの電話支援チャリティーコンサート」として、所沢ミュージズで「若林暢 & Aランドアンサンブル」によるバイオリン演奏のコンサートが開催されました。

演奏後に主演の若林暢さんが舞台上から、いのちの電話の活動の重要性を訴えてくださったため、会場に備えた大きな募金箱に来場者の方が列をつくって募金を入れてくださいました。

西部朝日西武支部の皆さまによる働きかけによって、多くの方からご理解とご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

## 埼玉いのちの電話の活動紹介

### 相談員になってからも研修を続けています

今回は、相談員の研修について簡単に紹介します。

埼玉いのちの電話の相談員になるためには、約1年半に渡って週1回の初期研修を受けます。そこでは、ロールプレイング、電話実習などの体験学習を通して、電話のかけ手に対しての援助的理解、より良い関わり方を学びます。

講義を中心とした学習では、いのちの電話の相談の姿勢、ボランティア精神、精神障害、自殺など主としていのちの電話に携わるために必要な知識、理念などを学びます。また、必修の2泊3日の合宿研修では、グループでの話し合いを通して自分の感情に気づき、他のメンバーの気持ちを知ることの意味を実体験します。

初期研修を終えて、いのちの電話の相談員として認定されると、実際の相談を受けることになります

が、月1回の継続研修に参加することが必須です。そこでは研修リーダーのもとに相談員同士が話し合い、より良い聴き手になるように研鑽を積み重ねています。この他、必要に応じて特別講座や理論講座などにも参加します。

研修は電話をより良く聴くためのものですが、自分の仕事や人間関係においても大いに役立っているという相談員の声も挙がっています。人の気持ちに寄り添うということを学ぶのは、自分自身の気持ちにも真摯に向き合う、自分のための時間でもあるかもしれません。

相談員活動を続けていく気力、体力を持ち続けられるよう、相談員同士、支えあいながら研修を続けています。



いつまでも美しい街に暮らす「幸福感」 ポラスの分譲住宅。

ポラスは、長く大切に使う住まいづくりを行っています。

## DESIGN × TECHNOLOGY = POLUS

「デザイン=価値」×「技術=品質」— お客様に最高の満足を提供したいポラスの揺るがないコンセプト。

こだわりの家建てた「満足感」 ポラスの注文住宅。




住まい価値創造企業

# POLUS

ポラスグループ

[www.polus.co.jp](http://www.polus.co.jp)

ポラス

検索

ポラス(株) 埼玉県越谷市南越谷1-21-2  
TEL.049-989-9119  
■宅建業国土交通大臣(10)第2401号  
■建設業国土交通大臣許可(特-18)第8156号



あゆみ

- 2010年
- 12月 4日 21期生講義「オリエンテーション」
  - 10日 フリーダイヤル
  - 11日 はんのう心の健康フェスティバル（飯能市）
  - 13日 22期生相談員募集説明会（川越）
  - 14日 22期生相談員募集説明会（桶川）
  - 18日 22期生相談員募集説明会（大宮）
- 2011年
- 1月 8日 公開講演会「清水真砂子氏」  
（埼玉会館小ホール）
  - 10日 フリーダイヤル
  - 15日 公開演奏会「二胡の奏でる夕べ」  
（川越市東部地域ふれあいセンター）
  - 25日 埼玉県監査
  - 31日 平成22年度第2回  
川越市自殺対策連絡協議会  
戸田市社会福祉協議会  
「ボランティアドバイザ-養成講座」
  - 2月 7日 定例後援会理事会（埼玉会館会議室）
  - 10日 フリーダイヤル
  - 11日 ほっとポットシンポジウム  
（市民会館おおみや）
  - 28日 第2回県中央地域自殺対策連絡協議会  
（鴻巣保健所）
  - 3月 5日 21期生講義「性Ⅱ」
  - 10日 フリーダイヤル
  - 19日 チャリティ映画会・公開バザー  
（大宮ソニック）
  - 24日 定例理事会・評議員会
  - 28日 講義「子どもの声を聴く  
（子ども虐待・貧困の取材現場から）」

2009年度埼玉県経営品質賞（SQA）知事賞受賞

【弊社経営理念】

私たちは常に研鑽しお客様第一主義に徹したサービスに努め  
地域一番店としての気概をもって明るい豊かな都市づくりに貢献します

～私たちは心の通う魅力ある地域コミュニティづくりに取り組みます～



**(株)大和不動産**

さいたま市浦和区高砂1-2-1

エイベックスタワー浦和オフィス西館1F

<http://www.home.co.jp/> TEL: 048 (824) 1161

ひとりで悩まないで、こころの苦しみを、お話しください。

自殺予防 いのちの電話

0120-738-556

毎月10日（フリーダイヤル）

8:00～翌日8:00（24時間・無料です）

埼玉いのちの電話20周年記念

チャリティコンサート



クミコ

“いのちを歌う”

2011年11月27日(日)

開演 16:00

大宮ソニック 大ホール

＜チケット売り出し6月初旬より＞

昨年NHK紅白歌合戦に初出場のクミコさんが、  
埼玉いのちの電話チャリティコンサートに再び出  
演。ヒット曲“INORI～祈り～”をはじめ、  
今回は出身校“春日部女子高校音楽部”とのコラ  
ボも企画しています。ご期待ください！



携帯サイト開設のお知らせ

この度「埼玉いのちの電話ホームペ  
ージ」の携帯サイトを開設しました。右の  
バーコードを読み取ってご覧ください。相  
談電話番号の案内や催物などのお知らせ  
記事を携帯画面から見るができます。



☆埼玉いのちの電話ホームページに、他の相談窓口紹介先を  
設けました。どうぞご覧下さい。

● 編集後記 ●

今回、高齢者の孤独死を取り上げました。孤独死は社  
会構造が生み出している問題であり、人と人との関係の  
希薄化が根っこにある問題でもあることを知りました。  
それが自殺にも繋がっており、それを防ぐには人と人と  
の結びつきを大切にしていくことだと思います。(W)



大切ないのちを守りたい

責任の  
**武州ガス**

川越市田町32-12

TEL(049)241-9000

<http://www.bushugas.co.jp>